

避難させ隊を活用しませんか？

～地区の避難訓練をサポートします！～

- 災害が発生したときや発生の予兆があるとき、不安や困りごとはありませんか？
- 地域の防災課題を把握し、避難訓練、日頃の備え等で、防災力を高めましょう！
- いざという時のために、地域に即した訓練を行い、習慣化することが大切です！

防災訓練の流れ（例）

【実施対象地域】孤立が見込まれる地域

お申し込み

【合意形成】合意頂いて、訓練内容、流れの検討、日程調整等を行います

ステップ 1

【意見交換・防災学習会】知識を深め発災対応や備えなどを話し合います

ステップ 2

【図上訓練、避難タイムラインの作成、マッピング等のワークショップ】
想定する災害の状況に応じた避難行動のイメージを共有し、
避難訓練実施に向けた役割分担、訓練計画を考案します

ステップ 3

【避難訓練の実施】訓練計画に沿って訓練を実施！ 終了後 講評を行います

ステップ 4

【訓練実施後の意見交換会】
意見交換（アンケート等含む）を行い、成果、今後の課題や対策
を検討し、実効性をより高めるために次の訓練に活かしましょう！

ケース① 防災訓練 例

- 地域住民が参加する学習会や訓練を支援します
- ステップ 1、2では防災組織内の役割分担や備蓄品の確認を行います
- ステップ 2、3では地域の防災士のスキルアップだけでなく、周辺地域の防災士等の参加を促し、OJTの場の提供や周辺地域への展開に活かします

ケース② 学習会 研修会 例

- 地域住民が参加しやすい学習会等を実施し、
家庭内備蓄の見直しや、地区の分散備蓄等、防災意識の向上を図ります
- 自治会や自主防災組織の役員の参加を促し、地域住民への普及を図ります
- 地域が避難訓練をはじめ、防災訓練を実施するきっかけを作ります

実施主体：地元の防災活動団体（自主防災会、防災士会等）

活動内容：○住民参加による 地域特性に即した防災訓練
○地域主体の継続性のある防災活動

ケース① 防災訓練（実施主体が中心となって実施）

実施項目：お申込み＋ステップ1～4を実施します

募集期間：令和7年4月～令和7年12月28日

ケース②学習会・研修会

実施項目：お申込み＋各ステップのいずれかを実施します

募集期間：令和7年4月～令和8年 2月28日

※訓練に必要な経費を支援します（再委託による経費の上限あり）

※実施地区数に達し次第、募集終了します

<これまで実施した地区の声>

防災学習会で
地域の災害リスクや訓練の
ポイントがわかった。

ワークショップで避難行動
のイメージが確認できた。

避難訓練で学んだことを活
かし、他の地区で防災学習
会を実施した。

【お申し込み・お問合せ】

特定非営利活動法人大分県防災活動支援センター 川村

TEL：097-576-8611

主催：大分県防災対策企画課